

令和4年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：女性自立支援センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>Ⅱ 施設の効用を最大限発揮するための方策</p> <p>(1)</p> <p>サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果</p> <p>(2)</p> <p>利用者の自立支援を図るための具体的手法及び期待される効果</p>	<p>○提案のあった自立支援を図るための取組み</p>	<p>○ 提案内容・評価要素欄中、「④サービス内容についての定期的な評価の実施や改善に取り組む体制の整備、評価を受けて改善した取組み内容」について、「次の自立支援計画書に向けての計画書」という名称は、利用者にとって分かりにくいいため、名称の変更を検討されたい。</p> <p>○提案内容・評価要素欄中、「①利用者の衣食住や情報に関する生活スキル向上のための支援」について、自立支援や権利啓発についても、項目立てを検討されたい。</p>	<p>○ 指定管理者に対し、利用者の主体的参画のもと自立支援計画を作成するよう、名称の変更について指示を行った。</p> <p>○退所後を想定した自立支援のための生活スキルとして、契約や各種手続き等を学ぶ機会を設けるための方法や手段を検討するよう指示を行った。また、自立支援や権利啓発については、既存の評価要素も踏まえて、実施状況の記載内容を整理する。</p>	<p>○ご提案の内容を踏まえ、「次の自立支援計画書に向けて」と名称を変更し、所管課の意見欄にて反映することとする。</p> <p>○提案内容・評価要素欄中、「①利用者の衣食住や情報に関する生活スキル向上のための支援」について、以下のとおり実施状況の記載内容を整理することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な生活スキル（衣食住） ・自立に向けた社会生活スキル（情報・その他） <p>「日常的な生活スキル（衣食住）」にはこれまでと同様の内容を、「自立に向けた社会生活スキル（情報ほか）」には、情報や契約や各種手続き等を学ぶ機会を設けるための方法や手段を検討し、実施内容を記載することとする。</p>

		<p>○提案内容・評価要素欄中、「②利用者与其他者（子ども、両親、きょうだい等）との関係の支援」について、自己評価中、不適切な子どもの養育が見られる母親への助言を行った旨の記載があるが、親の役割の捉え方は人それぞれのため、「個々の状況の見極めをした上で状況に応じ必要な支援を行う」といった内容に修正されたい。</p>	<p>○ご指摘の内容を踏まえ、「個々の状況を見極めた上で状況に応じ必要な支援を行うとともに」に文言を修正する。</p>	<p>権利啓発については、支援全般に係る内容であるため、「Ⅱ（１）サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果」内に「権利啓発の取組み」を支援の内容として新たに追加し、実施状況を記載することとする。</p> <p>○ご指摘の内容について、指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。</p>
V その他管理に際して必要な事項	○社会貢献活動等への取組	○各施設に第三者委員や苦情窓口を設置し、利用者の苦情や要望を受け付ける体制を整えたとの記載があるが、利用者支援の内容であるため、記載場所を見直されたい。	○府は指定管理者に対し、第三者委員等の体制に関する記入箇所を見直すよう指示を行った。	○「Ⅰ（１）施設の設置目的及び具体的な管理運営方針」において記入することとする。